

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東 大 名

上場会社名 近畿日本鉄道株式会社
 コード番号 9041 URL <http://www.kintetsu.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小林 哲也
 (氏名) 泉川 邦充

TEL 06-6775-3465

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	680,801	△0.2	36,536	27.0	26,686	41.2	16,056	278.3
24年3月期第3四半期	682,362	△0.6	28,762	3.8	18,899	14.3	4,244	△63.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 17,145百万円 (57.0%) 24年3月期第3四半期 10,922百万円 (12.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	9.42	9.08
24年3月期第3四半期	2.49	2.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,843,907	201,476	10.2
24年3月期	1,839,572	192,338	9.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 188,555百万円 24年3月期 180,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940,000	△0.3	46,000	14.4	32,000	17.8	18,000	107.7	10.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 四半期連結財務諸表規則第10条の5に該当するものではありません。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	1,711,120,616 株	24年3月期	1,711,120,616 株
----------	-----------------	--------	-----------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	7,306,084 株	24年3月期	7,305,772 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	1,703,818,580 株	24年3月期3Q	1,703,814,071 株
----------	-----------------	----------	-----------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) その他の注記	9
平成24年度第3四半期 決算補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として住宅建設や公共投資などで底堅さがみられたものの、欧州や中国など海外景気の減速の影響を受けて設備投資や輸出が低迷し、企業収益も製造業を中心に弱含みで推移するなど、厳しい状況のうちに推移いたしました。また、景気の先行きについても、海外経済の状況改善や補正予算の執行に伴う大規模な財政出動により景気回復へ向かうことが期待されるものの、海外経済を巡る不確実性は依然として高く、不透明な状況が続くものと思われま

このような状況のなか、当社グループの第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、営業収益は流通業で不採算店舗の閉鎖等により減収となりましたため、ホテル・レジャー業での震災の出控えの反動増による増収を差し引き、前年同期に比し0.2%減の680,801百万円となりました。

次に利益面におきましては、運輸業、ホテル・レジャー業が増収のほか、諸経費削減により増益となりましたため、営業利益は前年同期に比し27.0%増の36,536百万円となり、営業外損益で、営業外収益は持分法投資利益が減少し、営業外費用は金利の低下により支払利息が減少しましたため、経常利益は前年同期に比し41.2%増の26,686百万円となりました。特別損益で、特別利益は、前年は流通業子会社での第三者割当増資に伴う持分変動利益を計上しておりましたため、工事負担金等受入額などの増加を差し引き、前年同期に比し926百万円減少し、特別損失は、前年は流通業で経営構造改革費用を計上しておりましたため、(株)近鉄松下百貨店での店舗閉鎖に係る事業整理損や工事負担金等圧縮額の増加を差し引き、前年同期に比し10,165百万円減少し、法人税等、少数株主利益を控除した四半期純利益は、前年同期に比し278.3%増の16,056百万円となりました。

各報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

①運 輸

(A) 概 要

鉄軌道部門において、震災発生後の出控えの反動増や前年6月の高速道路料金休日上限千円制度廃止、沿線の観光施設の新設による増収のほか、本年3月のダイヤ変更による特急列車の利用者の増加により、運輸業全体の営業収益は前年同期に比し0.8%増の160,187百万円となり、営業利益は、鉄軌道部門で増収のほか人件費など諸経費の削減に努めましたため、前年同期に比し11.0%増の23,941百万円となりました。

(B) 営業成績

a. 当社の鉄軌道事業運輸成績表

種 別	単 位	当第3四半期連結累計期間		
		(平成24年4月～平成24年12月)	前年同期比(%)	
旅客人員	定 期	千人	259,773	△1.3
	定期外	千人	170,397	1.7
	計	千人	430,170	△0.1
旅客収入	定 期	百万円	36,083	△1.9
	定期外	百万円	73,320	2.0
	計	百万円	109,404	0.7

b. グループの営業成績

業 種	単 位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成24年4月～平成24年12月)	前年同期比(%)
鉄軌道事業	百万円	116,027	0.6
バス事業	百万円	25,507	△0.5
タクシー業	百万円	8,287	△0.3
交通広告業	百万円	5,804	△0.4
鉄道施設整備業	百万円	15,945	7.2
海運業	百万円	1,443	2.5
レンタカー業	百万円	2,342	1.4
消去	百万円	△15,170	—
営業収益計	百万円	160,187	0.8

②不動産

(A) 概要

不動産販売部門でマンション分譲戸数の減少により減収となりましたため、不動産業全体の営業収益は前年同期に比し1.9%減の83,530百万円となりましたが、営業利益は、マンション販売の利益率の向上により、前年同期に比し22.4%増の5,255百万円となりました。

(B) 営業成績

業種	単位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成24年4月～平成24年12月)	前年同期比(%)
不動産販売業	百万円	49,745	△4.6
不動産賃貸業	百万円	14,074	1.2
不動産管理業	百万円	23,356	2.7
消去	百万円	△3,645	—
営業収益計	百万円	83,530	△1.9

③流通

(A) 概要

百貨店部門で主として不採算店舗の閉鎖により減収となりましたため、流通業全体の営業収益は前年同期に比し4.8%減の276,842百万円となりましたが、営業利益は、百貨店部門における前期の希望退職者の募集による人件費の減少や諸経費削減により、前年同期に比し7.8%増の1,572百万円となりました。

(B) 営業成績

業種	単位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成24年4月～平成24年12月)	前年同期比(%)
百貨店業	百万円	198,834	△6.3
ストア・飲食業	百万円	78,969	△1.9
消去	百万円	△961	—
営業収益計	百万円	276,842	△4.8

④ホテル・レジャー

(A) 概要

旅行部門及びホテル部門で、震災発生後の出控えの反動増がありましたほか、平成23年10月に開業いたしました「ホテル近鉄京都駅」がフルに寄与いたしましたため、ホテル・レジャー業全体の営業収益は前年同期に比し7.9%増の164,971百万円となり、営業利益は前年同期に比し687.1%増の5,111百万円となりました。

(B) 営業成績

業種	単位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成24年4月～平成24年12月)	前年同期比(%)
ホテル業	百万円	35,437	6.5
旅行業	百万円	118,937	9.9
映画業	百万円	2,313	△10.5
旅館・レジャー施設業	百万円	8,283	△5.2
消去	百万円	—	—
営業収益計	百万円	164,971	7.9

⑤その他

(A) 概要

情報処理部門で、システム開発を新規受注いたしましたため、その他の事業全体の営業収益は前年同期に比し15.0%増の10,088百万円となりましたが、営業利益は、保険代理部門で長期の損害保険契約の更新が端境期でありましたため、前年同期に比し15.3%減の495百万円となりました。

(B) 営業成績

業種	単位	当第3四半期連結累計期間	
		(平成24年4月～平成24年12月)	前年同期比(%)
ケーブルテレビ業	百万円	7,243	6.6
情報処理業	百万円	2,458	65.2
保険代理業	百万円	386	△21.0
消去	百万円	—	—
営業収益計	百万円	10,088	15.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、流動資産で販売土地及び建物がマンション建築工事進捗等に伴い増加したほか、仕掛品が増加しましたが、その他に計上している前渡金が減少し、固定資産で建設仮勘定が阿部野橋ターミナルビル整備工事の進捗等により増加しましたが、建物及び構築物が減価償却の実施により減少しましたため、合計では前期末に比し4,335百万円増加しました。負債は、借入金及び社債は増加しましたが、流動負債のその他に計上している未払金が減少しましたため、前期末に比し4,803百万円減少しました。純資産は、株主資本が四半期純利益の計上により増加しましたため、前期の剰余金処分での配当による減少やマイナスの土地再評価差額金の取崩しによる減少を差し引き増加し、その他の包括利益累計額が、マイナスの土地再評価差額金の取崩しにより増加しましたため、前期末に比し9,138百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、平成24年11月9日に公表いたしました予想どおりに概ね推移しておりますため、平成25年3月期通期の連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,918	21,095
受取手形及び売掛金	27,139	27,341
商品及び製品	15,464	17,081
仕掛品	1,021	4,097
原材料及び貯蔵品	3,027	3,111
販売土地及び建物	174,756	180,678
その他	63,345	54,920
貸倒引当金	△579	△978
流動資産合計	308,094	307,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	597,984	582,366
土地	655,363	654,941
建設仮勘定	61,710	82,082
その他（純額）	60,831	59,197
有形固定資産合計	1,375,890	1,378,588
無形固定資産		
のれん	3,608	1,694
その他	8,954	9,428
無形固定資産合計	12,563	11,122
投資その他の資産		
投資有価証券	72,585	74,844
その他	70,388	71,410
貸倒引当金	△1,648	△1,551
投資評価引当金	△305	△275
投資その他の資産合計	141,019	144,428
固定資産合計	1,529,473	1,534,138
繰延資産	2,004	2,421
資産合計	1,839,572	1,843,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,818	39,576
短期借入金	290,098	278,161
1年以内償還社債	90,800	108,840
未払法人税等	6,956	6,290
賞与引当金	7,913	5,127
商品券等引換損失引当金	4,048	4,026
建物等除却損失引当金	—	804
その他	149,387	144,737
流動負債合計	587,023	587,564
固定負債		
社債	307,400	288,560
長期借入金	602,667	618,491
退職給付引当金	8,978	9,704
役員退職慰労引当金	134	32
関係会社整理損失引当金	804	—
建物等除却損失引当金	1,181	377
その他	139,045	137,701
固定負債合計	1,060,211	1,054,866
負債合計	1,647,234	1,642,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	92,741	92,741
資本剰余金	27,317	27,313
利益剰余金	△13,860	△8,798
自己株式	△1,781	△1,778
株主資本合計	104,416	109,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,041	1,093
繰延ヘッジ損益	172	367
土地再評価差額金	82,371	85,103
為替換算調整勘定	△7,611	△7,486
その他の包括利益累計額合計	75,974	79,076
少数株主持分	11,947	12,921
純資産合計	192,338	201,476
負債純資産合計	1,839,572	1,843,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで)
営業収益	682,362	680,801
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	583,036	574,142
販売費及び一般管理費	70,564	70,121
営業費合計	653,600	644,264
営業利益	28,762	36,536
営業外収益		
受取利息	228	191
受取配当金	399	305
負ののれん償却額	152	—
持分法による投資利益	3,887	3,426
その他	2,404	2,005
営業外収益合計	7,073	5,929
営業外費用		
支払利息	14,361	13,114
その他	2,574	2,665
営業外費用合計	16,935	15,779
経常利益	18,899	26,686
特別利益		
工事負担金等受入額	5,866	6,590
固定資産売却益	72	454
有価証券売却益	100	—
持分変動利益	2,005	—
その他	94	167
特別利益合計	8,139	7,213
特別損失		
工事負担金等圧縮額	5,855	6,588
固定資産売却損	60	89
固定資産除却損	337	454
減損損失	24	518
経営構造改革費用	10,792	—
建物等除却損失引当金繰入額	1,181	—
事業整理損	—	845
その他	1,048	637
特別損失合計	19,300	9,134
税金等調整前四半期純利益	7,738	24,764
法人税等	7,328	8,043
少数株主損益調整前四半期純利益	410	16,721
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,834	664
四半期純利益	4,244	16,056

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	410	16,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△21
繰延ヘッジ損益	△269	226
土地再評価差額金	12,068	—
為替換算調整勘定	△228	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,098	243
その他の包括利益合計	10,512	423
四半期包括利益	10,922	17,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,462	16,427
少数株主に係る四半期包括利益	△3,540	717

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) その他の注記

(四半期連結損益計算書関係)

平成24年9月25日に、子会社の㈱近鉄松下百貨店において平成25年2月末に店舗の閉鎖を決定したことに伴い、減損損失等の事業整理損を特別損失として計上しております。

平成24年度第3四半期 決算補足資料

収支比較表《連結》

(単位：百万円)

	当第3四半期累計 (24/12) 実績	前年同期比	
売上高	680,801	△1,561	△0.2%
運輸	160,187	1,255	0.8%
不動産	83,530	△1,615	△1.9%
流通	276,842	△13,902	△4.8%
ホテル・レジヤ	164,971	12,138	7.9%
その他	10,088	1,315	15.0%
調整	△14,820	△753	
営業利益 (売上高営業利益率)	36,536 (5.4%)	7,774 (1.2%)	27.0%
運輸	23,941 (14.9%)	2,367 (1.3%)	11.0%
不動産	5,255 (6.3%)	963 (1.3%)	22.4%
流通	1,572 (0.6%)	113 (0.1%)	7.8%
ホテル・レジヤ	5,111 (3.1%)	4,461 (2.7%)	687.1%
その他	495 (4.9%)	△89 (△1.8%)	△15.3%
調整	160	△42	
営業外収益	5,929	△1,144	△16.2%
営業外費用	15,779	△1,156	△6.8%
経常利益	26,686	7,786	41.2%
特別利益	7,213	△926	△11.4%
特別損失	9,134	△10,165	△52.7%
四半期純利益	16,056	11,812	278.3%

(注) 連結子会社数 48社 0社 (前期末比)
 持分法適用会社数 6社 0社 (前期末比)

運輸成績表《単体》

	当第3四半期累計 (24/12) 実績	前年同期比	
旅客人員(千人)	430,170	△520	△0.1%
定期外(千人)	170,397	2,889	1.7%
定期(千人)	259,773	△3,409	△1.3%
旅客収入(百万円)	109,404	718	0.7%
定期外(百万円)	73,320	1,421	2.0%
定期(百万円)	36,083	△703	△1.9%